

ISO/TS 21569-8:2025(en)

Horizontal methods for molecular biomarker analysis — Methods of analysis for the detection of genetically modified organisms and derived products — Part 8: DNA extraction from alfalfa seeds and real-time PCR based detection methods for genetically modified alfalfa events J101, J163 and KK179

分子生物指標分析の横断的手法 - 遺伝子組換え体及び由来製品の検出のための分析法 - 第 8 部: 遺伝子組換えアルファルファ J101、J163 及び KK179 系統の検出のためのアルファルファ種子からの DNA 抽出及びリアルタイム PCR

1. 規格の概要

ISO21569:2005「食品－遺伝子組換え体及び由来製品の検出のための分析法－核酸に基づく定性法」の要求事項に則した分析法として提案されたもので、アルファルファ種子からの DNA 抽出並びに除草剤耐性アルファルファ J101 系統及び J163 系統並びに低リグニンアルファルファ KK179 系統を作物/植物/種子/穀物の分析試料から特異的に検出するための手順が規定されている。

2. 発行状況等

2023 年 2 月に新業務項目提案が承認され、2025 年 4 月に初版が発行された。

3. 規格の構成(仮訳)

まえがき

- 1 適用範囲
- 2 引用規格
- 3 用語及び定義
- 4 原理
- 5 試薬及び材料
 - 5.1 一般
 - 5.2 室間共同試験及びコントロール試料
 - 5.3 DNA 抽出試薬及び溶液
 - 5.4 PCR 試薬
- 6 器具
- 7 手順
 - 7.1 分析試料の調製
 - 7.2 DNA 抽出物の調製
 - 7.3 PCR セットアップ
 - 7.4 温度-時間プログラム

8 許容/棄却の基準

8.1 一般

8.2 同定

9 妥当性確認の状況及び性能基準

9.1 感度

9.2 特異性

9.3 頑健性

9.4 室間共同試験

9.5 総合評価

10 試験報告書

参考文献